

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	55 -	事業名	障がい者福祉事業	担当部課	福祉部福祉課
------	------	-----	----------	------	--------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	4	障害者が暮らしやすいまちをつくる	款	3	民生費
		施策の進め方	-		項	1	社会福祉費
	まちづくり 行程表	フラッグ	F2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	目	4	身体障がい者福祉費
		政策分類	-		大事業	2	障がい者福祉事業
	その他(関係法令、要綱等)		長久手市障がい者社会見学事業助成金交付要綱				
事業開始の背景、経緯等		障害者の社会参加の促進や自立した生活を支援するため実施					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 障がい者の社会参加の促進や自立した生活支援をすることを目的に、障がい者作業施設外での就労を推進し、障がい者を支援する団体が実施する社会見学事業に対する補助を行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 障がい者および障がい者の社会参加の促進や自立した生活を支援することを目的として活動する団体					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 障がい者の社会参加や外出機会を創出するために活動する団体の活性化を支援する					
	事業を構成する事務事業	① 障がい者福祉事務事業	② 心身障がい者社会見学事業	③ 障がい援護事業	④ 障がい者計画策定・評価事業	⑤	⑥

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		-	74,441	75,391
決算					-	73,626	75,690	
人件費(B)	千円	決算	予算		-	12,221	19,327	
			決算		-	85,847	95,017	
総コスト(A)+(B)		千円	決算		-	85,847	95,017	

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A	ながふく就労体験実施時間数	時間	目標	-	-	42	120
実績				-	-	54	65	
B	心身障がい者社会見学申請団体数	団体	目標	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
			実績	1.0	2.0	2.0	2.0	
C	福祉有償運送講習会参加者数	人	目標	-	15.0	15.0	15.0	15.0
			実績	-	18.0	10.0	8.0	
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 障がい者の社会参加の機会が創出できる								
B 申請団体が増加すると障がい者の外出機会も増加していると判断できる								
C 担い手を増やすことにより、障がい者の外出機会の促進を図れる								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 人口増加に伴い障がい者数も増加しているため、手当等の財源が毎年増加し続けている。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 施設外就労の依頼件数が目標を下回っている
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 福祉有償運送の制度の周知及び担い手が不足している

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 施設外就労の依頼を福祉部内から全庁に拡大するとともに、福祉有償運送の担い手を増やす
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 平成32年度中に福祉有償運送の制度及びドライバー認定講習の周知が進んでいる

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		障がい者福祉事業										
番号	①	事務事業名	障がい者福祉事務事業		款	3	項	1	目	4	大事業	2	中事業	1
事務事業の期間		事務事業開始年度			平成28年度			終了（予定）年度		—				

1. 事務事業の目的

対象・手段	（誰、何に対し、何をどのように実施しているのか） 障がい者にかかる事務を正確且つ円滑に進める
意図	（対象をどのような状態にしたいか） 障がい者の社会参加の促進や自立した生活を支援する

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算 決算	— —	— —	1,317 853	1,127 499	971
＜事業費の主な内訳（当該事業年度）＞							
① 障がい者市役所内職業訓練委託						71	千円
②							千円
③							千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
ながふく就労体験実施時間数	時間	目標	—	—	42	120	120
		実績	—	—	54	65	
		目標					
		実績					

＜備考：活動の概要（当該事業年度）＞

障がいのある人に市役所内で軽易な業務を体験してもらった。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

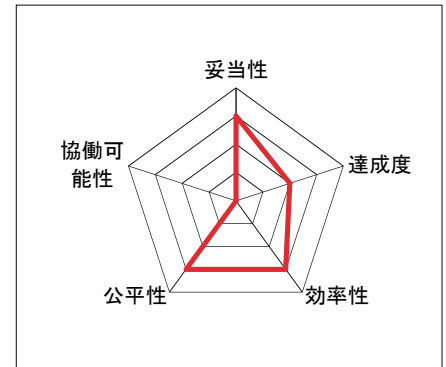
（制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など）
将来一般就労を目指す障がい者が自分にあった仕事を選択するための体験の場が求められている。

5. 前年度からの改善状況

＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞
現在は福祉部内で依頼する業務の募集を行っているが、対象を全庁に拡充する
（何をどのような状態に改善したのか）
業務の種類を増やした。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働可能性	—



【アピールポイント】

（活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど）
社会復帰を目指す障がい者に対し、市役所内でできる業務を紹介している

【ウイークポイント】

（活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど）
業務の種類と参加する課を増やしていくことが必要

7. 今後の方向性

拡充

【コメント】

（改善の方法、今後の具体的展開など）
現在は福祉部内で依頼する業務の募集を行っているが、対象を全庁に拡充する

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		障がい者福祉事業									
番号	②	事務事業名	心身障がい者社会見学事業	款	3	項	1	目	4	大事業	2	中事業	3
事務事業の期間	事務事業開始年度			—			終了（予定）年度			—			

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	障がい者の社会参加を促進するため、障がい者を支援する団体が障がい者を対象に社会見学事業を企画・運営して実施する場合に補助金を交付する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	障がい者の社会参加が促進されたり、自立した生活を送ることにつながるものとした。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		—	900	800	800
		決算		—	513	545	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
①		心身障がい者社会見学助成金				545	千円
②							千円
③							千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
申請団体数	団体	目標	3	3	3	3	3
		実績	1	2	2	2	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
障がいのある人の学習機会の提供及び外出する機会の創出のため、団体等が開催した社会見学事業の一部費用を助成する。平成29年度は希望の会に150,000円、長久手市身体障害者福祉協会に395,000円の助成を行った。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

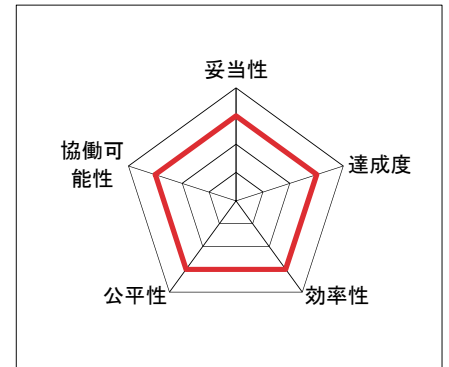
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
今まで市が主催していた社会見学事業を補助事業に変更した。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
HPや広報、関係団体の会合等で事業の周知を図る
(何をどのような状態に改善したのか)
—

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
2団体が社会見学を実施し、補助金を交付した。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
制度の周知を図り、実施団体を増加させる

7. 今後の方向性

現状維持

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
HPや広報、関係団体の会合等で事業の周知を図る

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		障がい者福祉事業									
番号	③	事務事業名	障がい援護事業	款	3	項	1	目	4	大事業	2	中事業	4
事務事業の期間	事務事業開始年度			-			終了（予定）年度			-			

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	①障がい者に対して手当等を支給する ②福祉有償運送の担い手を希望する者に対し、講習を開催する
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 障がい者の経済的負担の軽減を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算 決算		-	71,639 72,186	72,071 73,711	92,797
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 福祉有償運送ドライバー認定講習会委託						172	千円
② タクシー料金助成金						3,194	千円
③ 障害者手当（市単費）						55,348	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
有償運送講習参加者数	人	目標	-	15	15	15	15
		実績	-	18	10	8	
		目標 実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
福祉有償運送の担い手であるドライバーを増やすため、ドライバー認定講習会を開催する。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

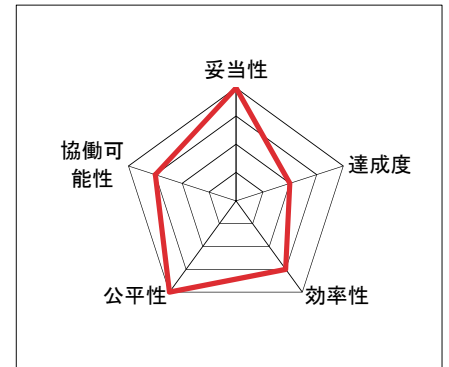
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
人口増加に伴い障がい者数も増加しているため、手当等の財源が毎年増加し続けている。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
毎年増加する費用に対し、今後どのように対応するか検討する。
(何をどのような状態に改善したのか)
運営協議会で担い手の増加のため、制度及びドライバー講習の周知について検討した。

6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	2
効率性	3
公平性	4
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
愛知県補助事業に繰り入れる前から本市独自で実施していた事業があり、先進的な取組ができています。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
手当額が毎年増加している。

7. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
福祉有償運送協議会で検討した制度及びドライバー講習について周知する。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		障がい者福祉事業									
番号	④	事務事業名	障がい者計画策定・評価事業	款	3	項	1	目	4	大事業	2	中事業	5
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成27年度	終了（予定）年度	-								

1. 事務事業の目的

対象 ・ 手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	ながふく障がい者プランの策定、評価等を障がい者自立支援協議会の計画策定部会、評価部会で検討する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	障害者の社会参加や外出機会を創出する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算	-	-	585	1,393	2
		決算	-	-	74	935	-
＜事業費の主な内訳（当該事業年度）＞							
① 障がい者基本計画策定委託						534	千円
② 障がい者計画策定事業関連資料配布委託						222	千円
③ 印刷製本費						178	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
策定部会実施回数	回	目標	-	-	1	6	0
		実績	-	-	1	4	-
評価部会AB判定数	個	目標	-	-	12	14	15
		実績	-	-	12	13	-
＜備考：活動の概要（当該事業年度）＞							
ながふく障がい者プランの策定、評価等を障がい者自立支援協議会の計画策定部会、評価部会で検討する。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

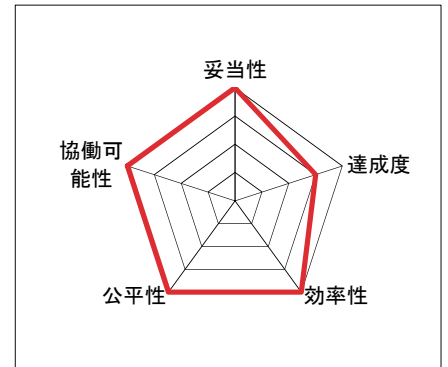
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
これまで計画策定については市役所中心で策定を進めていたが、自立支援協議会を立ち上げたことにより、障がい者や関係者の多くの意見を聞くことができる状況となった。

5. 前年度からの改善状況

＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞
策定スケジュールを遅延なく実施する。
(何をどのような状態に改善したのか)
評価部会、策定部会を同メンバーで行うこととした。

6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	4
公平性	4
協働可能性	4



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
平成30年が改訂の年にあたるため、その準備をするとともに、重点施策の見直しを実施する。また、評価部会で評価を受け、同部会メンバーで策定部会を行うことで一貫した計画づくりとなっている。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
部会の開催をスケジュールどおり実施できていない。

7. 今後の方向性

縮小

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
策定スケジュールを遅延なく実施する。平成33年度が策定の年に当たるため、準備を進めていく。